



2025 年 8 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社エージェント I Gホールディングス
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 一 戸 敏
(コード：377A 名証メイン市場)
問合せ先 取締役専務上級執行役員 高橋 真喜子
(TEL 03-6280-7818)

2025 年 12 月期 第 2 四半期決算 質疑応答集

2025 年 8 月 19 日に開催した「SBI 証券主催 2025 年 12 月期 第 2 四半期決算説明会」において、投資家の皆様からいただいた主な質問と回答内容について、以下の通り開示いたします。

ご理解いただきやすいよう、一部表現の変更や内容の加筆・修正を行っております。

今後も、株主・投資家の皆様への情報提供に努めてまいります。

記

Q 通期業績予想の達成に向けては順調に進捗していると考えてよろしいでしょうか。

A 第 1 四半期が赤字、第 2 四半期がほぼ損益分岐点という進捗ですが、これは社内計画通りです。事業承継モデルは後半に収益が伸びる傾向があるため、通期の業績予想達成に向けては順調に進んでいると認識しております。

Q M&A総合研究所との連携の詳細を教えてください。

A 当社はこれまで、個人向けには住宅ローンや投資信託などの金融商品の販売をすることで、保険商品以外の事業領域を広げてきました。これらと同様に、法人のお客様向けにも何か提供できるサービスが無いかと考えた際に、多くの企業でテーマになる事業承継に対してサポートできるよう、M&A 総合研究所との提携に至りました。

Q 今後M&A総合研究所との資本提携予定はありますか。

A 現在のところはありません。

Q ファイナンシャル・ジャパンの PMI において想像以上に苦労していることはありますか。

A 当社よりも規模の大きい会社を取り込んだこともあり様々な課題はございますが、想定を逸脱するような大きな問題はないと認識しております。

Q 御社の M&A のソーシングはどのように行っていますか。買収先はどのような規模の会社が多いのでしょうか。

A 1 名で運営されている保険代理店様からファイナンシャル・ジャパンのような大きな会社まで様々ですが、多くは 10 名～20 名程度の代理店合流が多い傾向です。

Q 中間期の業績予想を開示しない理由を教えてください。

A 当社の事業承継のビジネスモデルでは、後半に業績が伸びていく傾向があるため、中間期の業績目標を立てることにあまり意味がないと考えております。

- Q** 8月19日の株式取引数はゼロでしたが、立会外分売以外に流動性を高める策と、自社取締役会内で議論することはありますか。また、時価総額が停滞している理由として何が考えられますか。
- A** 現在、当社の流動性は最も重要な経営課題の一つと認識しており、取締役会をはじめ様々な場所で活発に議論を行っています。流動性の改善は、時価総額の向上にも直結すると考えており、立会外分売の実施だけでなく、流通株式数を増やすことに優先的に取り組んでおります。
- Q** 持株会社のエージェント I Gホールディングスと、事業会社エージェント・インシュアランス・グループの取締役はほぼ兼任となっていますが、ガバナンス面ではどのような注意をしていますか。
- A** 将来的にはガバナンス強化のため、構成員は分けていくべきと考えており、決まり次第速やかにお知らせいたします。
- Q** 3年後時価総額100億円を目指す道のりは順調でしょうか。
- A** 日々、目標達成に向けて事業を進めております。
- Q** 純利益の1%の寄付活動には共感しますが、期末の業績予想未達が2期続いている中では自己資本比率、財務面に不安があります。
- A** 上場し、公の器として存在している限りは、どのような形で社会貢献するかを常に模索する必要があると考えており、毎回取締役会で決議している通り、経営の総意として受け取っていただければ幸いです。
- Q** 海外事業において御社が選ばれる理由、強みはなんでしょうか。
- A** 独立系の国内保険代理店においてアメリカに進出しているのは、当社のみと認識しています。特定の保険会社の色に染まらない独立した立場であることが我々の強みと考えています。これにより多様な提携が可能となり、事業に繋がっています。
- Q** 金利の上昇やインフレは御社にとってプラスに作用するでしょうか。
- A** 当社の財務面への影響はあまりございません。一方で、商品の販売においては金利が上がるほど変額の保険や外貨建て商品で好条件のものが出やすくなるため、お客様の選択肢が広がり、販売機会の拡大にも繋がるものと考えております。
- Q** トランプ関税の影響はありませんか。
- A** 当社への影響はございません。
- Q** 遠い将来、ファイナンシャル・ジャパンの株式上場を目指す可能性はありますか。
- A** 現状は上場しているエージェント I Gホールディングスの価値を高めていく活動に注力したいと考えております。
- Q** 以前 IR 強化の一環として取締役の顔写真と経歴の掲載を要望しましたが、その後の検討状況はいかがでしょう。
- A** ご提案ありがとうございます。前述の通りホールディングスと事業会社でメンバーの変更や入れ替えの可能性があるので、まとも次第再度検討いたします。
- Q** 名証 IR EXPO に参加される意義について教えてください。
- A** 名証は個人投資家の皆様が活発に参加されている市場と認識しており、地道な活動により当社のファンを増やしたいといった狙いがございます。
- Q** 株主還元へのお考えを教えてください。
- A** 配当および株主優待について、当社の成長と財務状況を鑑みながら日々検討しております。
- Q** 正式な株主優待ではなく、株主にボールペンやTシャツなどの会社ノベルティを抽選式で支給すること

は難しいでしょうか。

A 株主の皆様は公平に還元できる策を検討したいと考えております。

Q 社長のトーク力の秘訣はなんですか。

A 一人っ子として育ち、トーク力が高いという認識は決してございませんが、皆様になるべくわかりやすくご説明できるよう努めております。

以 上